

Golden Age Project COMP-54mk3



取り扱い説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / COMP-54

COMP-54 はシングルチャンネルのビンテージスタイル・コンプレッサーです。シグナルパスにはビンテージ機器同様にディスクリートのコンポーネントだけが使用されています。入力と出力はトランスフォーマー・バランス構成で、さらに3つめのインターステージ・トランスフォーマーが積まれています。

近代的なデザインの IC を中心に据えたインテグレートデザインのサウンドより、COMP-54 のようなクラシックな本物の回路構成は素晴らしいキャラクターと質感を持っています。いまだに多くのレコーディングでビンテージ NEVE が使用されているのには正しい理由があるのです。それはその美しいアナログサウンドが普遍的なものだからです。

COMP-54 では 1969 年に設計されたクラシック NEVE 2254 コンプレッサーと同じクラス A サーキットを採用しています。NEVE2254 の個性的なサウンドは発表と同時に瞬く間に業界のスタンダードなサウンドとなりました。音楽的で温かく、スムーズなサウンドを持つ最高のコンプレッションサウンドが魅力です。

定番のもつ安定感のある贅沢なアナログサウンドをお求めやすい価格で提供します。



FEATURES

- ビンテージスタイル回路設計。オールディスクリット回路構成(NO Integrated Circuit)
- クラシックなダイオード・ブリッジ・デザインを採用
- トランスフォーマー・バランス構成
- トランスフォーマーのアップグレードにも対応可能
- フレキシブルな Ratio、Attack、Release コントロール
- 設定のリコールが容易なステップコントロール（Gain を除く）
- 3 周波数のサイドチェインフィルター搭載。うち 1 ポジションは 7kHz で高周波だけにリミッティングをかけたアナログテープのシミュレーションが可能
- COMP In/Out と 独立した Bypass スイッチを搭載
- 視覚性のよいアナログメーター（出力とゲインリダクション量を切替表示可能）
- 2 台の COMP-54 をリンクさせステレオオペレーションも可能
- 独立した XLR と TRS フォン入出力を用意
- 600 オーム・ターミネーション・スイッチ装備
- 24V AC アダプター（付属）、またはハイエンド外部パワーサプライ（PS-AC4）も使用可能
- ソリッドで頑強なシャーシデザイン

CIRCUIT DESCRIPTION

信号はまず最初に入カトランスに入り、ダンピングネットワークとダイオードブリッジを通過します。ここでゲインリダクションが行われます。続いてバランス FET トランジスタステージを通過し、サイドチェイン回路とトランジスタゲインステージのためのインターステージトランスフォーマーに辿り着きます。

信号は最後にアウトプットステージに入ります。アウトプットステージは 3 つのトランジスタでシンプルに構成され。その最後には 2N3055 パワートランジスタをクラス A で動作させ出力トランスをドライブさせています。

COMP-54 では IC を使用したインテグレートサーキットに比べ、驚くほど最小のアクティブ・エレメンツで回路を構成しており、圧倒的なサウンドのアドバンテージを確保しています。音楽的な美しい倍音成分やアナログならではのマジックに満ちたサウンドを聴けば、いかに現代のデジタルレコーディングにこのビンテージサウンドが必要かが理解できるはずです。

USING COMP-54

コンプレッサーについて学ぶには沢山の経験が必要です。使いこなすことによって素晴らしいサウンドツールとなります。ここではコンプレッサーの基本の機能について説明しています。

CONNECTING The COMP-54

- AC24V の AC アダプター、または別売の外付け PSU ユニットから電源を供給し、フロントパネルの電源スイッチをオンにします。
- XLR と TRS フォーンの入出力端子は平行に接続されています。トランスフォーマーバランスのため前後に接続される機器がバランスでもアンバランスでも問題ありません。

CONTROLS

THRESHOLD-コンプレッサーが効き始めるスレッシュホールドを設定します

RATIO-コンプレッションの比率を決定します

ATTACK-コンプレッサーが効き始めるまでの時間を調整します

RELEASE-コンプレッションが元のレベルに戻るまでの時間を調整します

HPF-サイドチェインサーキットのハイパスフィルターです。ここで設定した値より下の周波数にはコンプレッサーがかからないよう設定できるため、例えばドラムのキックにコンプレッサーが反応しすぎてしまう時などに 50hz と 100Hz の HPF を活用することができます。7kHz ポジションは高周波だけにコンプレッションを効かせられるため、使い方によってはアナログテープのコンプレッションを模倣したようなサウンドを作ることできます。

GAIN-最終のメイクアップゲインを調整できます

LINK-2 台の COMP-54 を使用する場合には 2 台の LINK ジャックを TRS ケーブルで接続し、フロントパネルの LINK スイッチをオンにします。

IN/OUT-コンプレッサーセクションだけを IN/OUT 可能です。信号は COMP-54 の回路を通過していません。

BYPASS-バイパスは完全なハードウェアバイパスです。COMP-54 の回路は全く通過せず INPUT にあ

る信号がそのままアウトプットされます。

METER-アナログメーターはスイッチで出力レベルとゲインリダクションメーターに切り替えが可能です

600Ohm TERM-出力トランスフォーマーは 600 オームロードでも使用することができます。入力インピーダンスは 10k オーム以上です。リアパネルにスイッチがあります。

LEVEL と METER

過剰なオーバーロード信号が入力されるとメーターにダメージを与えるのでご注意ください（過剰信号でのメーター破損は保障対象外となります）。

COMP-54 は工場出荷時には+4dBu(1.23Volts)で 0VU に設定されています。もしこのレベルを変更したい場合にはサーキット内部の METER OUT で調整が可能です。-10dB 基準レベルなどで利用されたい場合には弊社技術部までご相談ください。

また内部サーキットの METER GR ではメーターのスケールモードを調整することもできます。

COMP-54 の電源が入らなくなった場合には、まずヒューズをご確認ください。

EQ-73 のための専用インサート端子

→ EQ-73 は入出力がインサート端子となっており PRE-73、PRE-73DLX、COMP-54 のインサート端子に接続して使用します(mk2 より)

Create Music

-Be Happy!